

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10月 21日

派遣者氏名（専門分野）	林 葉子 （ 女性史 ）
-------------	--------------

派遣期間	2012年 7月 20日 ～ 2012年 9月 20日
------	-----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
イギリス	リヴァプール	The University of Liverpool Library

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

リヴァプール大学図書館の Josephine Butler Collection を含む Special Collections & Archives (SC&A) の利用には、予約が必要である。図書館の場所やメールアドレス等の情報は、インターネットで取得できる。派遣者の場合は、メールに利用目的や利用希望日等を記して問い合わせたところ、コレクションの閲覧が可能であるとの返信を得た。

SC&A の閲覧室へ入るには、まずは大学図書館の一般の入り口から入館する。利用申請は、その入り口ではなく SC&A の受付で行う。SC&A の閲覧室の利用に際しては、図書館カードは発行されない。派遣者が閲覧室を利用した時には、SC&A の閲覧室には常時、一人か二人しか利用者がいなかったためか、二回目以降の入室手続きは不要だった。ただし、SC&A の閲覧室へ入るには、三枚のガラスの扉を通る必要があり、管理は厳重である。

一枚目の扉を入ったところにロッカーがあり、そこへ荷物を預ける。一枚目の扉の開閉は、二枚目の扉の奥にある SC&A の受付の人が行い、普段はその扉は常時鍵がかかった状態である。SC&A の閲覧室へはノートパソコンやカメラや筆記用具（ペンの使用は不可、鉛筆は可）等の持ち込みが可能である。閲覧室は、受付からさらに奥へ入ったところの三枚目の扉を開けたところにある。

SC&A の受付で、使用するコレクションの目録のファイルを受け取り、それを見て、必要な資料の請求を行う。請求の際には、専用の用紙に鉛筆で必要事項を記入して、受付の人に渡し、別室からの資料の到着を待つ。派遣者が利用した期間には、資料の請求の後、ほとんど待ち時間をかけずに閲覧することが可能であった。

書籍等は、そのまま現物を閲覧できるが、手紙の資料は、専用のリーダーを用いて、マイクロフィッシュ化されたものを閲覧する。マイクロフィッシュの資料は、印刷が可能である（有料）。手紙類のマイクロフィッシュは、よく整理され年代順に並んでいるので使いやすい。

閲覧室にはコピー機はないが、カメラの使用が可能である。閲覧室内は明るいので、フラッシュなしでの撮影に支障はない。閲覧室内には電源用のコンセントがあり、使用できる。

各コレクションの資料は、基本的には閉架資料だが、閲覧室内には参考図書の本棚がある。閲覧室には複数の机があり、一人分のスペースが広い作業しやすい。閲覧する時には、資料の保護のため、専用のスポンジの台を用いる。